

福祉とやま

ふれあいネットワーク (福) 富山県社会福祉協議会広報誌

2022
11月号
November

No.466



「NPO法人 えがおプロジェクト」が開催したフードパントリーの様子

目次

CONTENTS

特集 P2~4

ひとり親家庭への支援について ~コロナ禍で見えてきた課題とその対応~

情報フラッシュ

県健康・福祉人材センターから P5

知っておきたい福祉情報 社会福祉施設経営相談室から
福祉用具・アイデアコンクール受賞作品のご紹介 P6

我が社会福祉法人の地域における公益的な取組
あかいほねトピックス P7

NPO法人の紹介

NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・富山(富山市)
シニアタレント・語り部登録者募集中 P8

ボランティアグループ紹介

氷見きときと脳トレクラブ(氷見市)
しぜつの損害補償 P9

いらっしやいませ! 私たちの自慢の一品

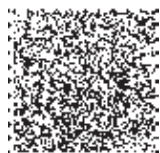
NPO法人 あかりハウス(富山市) P10

令和4年度「介護川柳」入賞作品

災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会報告
障害者を支援する団体への助成活動の報告 / 寄付報告 P11

フリートーク

特養ささづ苑 副施設長 村井 博昭さん
県社協のおもな動き/編集後記 P12



スマートフォン用アプリ「Uni-Voice」
または「Uni-Voice Blind」を使えば
情報を音声で読み上げると同時に、テキストで表示されます。



この広報誌は共同募金の助成を受けています。

ひとり親家庭への支援について

「コロナ禍で見えてきた課題とその対応」

ひとり親家庭は生計と家事育児を一人で担うため、多くの困難に直面しています。また、長期化する新型コロナウイルス感染症の拡大は、ひとり親家庭の自立や生活安定にむけた支援の重要性を改めて浮き彫りにしました。今回は、コロナ禍でもひとり親家庭が安定して豊かな生活を送るための支援制度や支援団体について特集します。

富山県の現状と取り組み

富山県のひとり親家庭の世帯数

富山県内のひとり親家庭の世帯数は、平成30年5月31日時点の推計値で7,875世帯

〈富山県のひとり親家庭の世帯数〉

	平成20年	平成25年	平成30年
母子家庭数	7,915 (2.1%)	8,082 (2.1%)	7,232 (1.8%)
父子家庭数	911 (0.2%)	840 (0.2%)	643 (0.2%)
計	8,826 (2.3%)	8,922 (2.3%)	7,875 (1.9%)
全世帯数	382,994	391,799	404,929

※()内は対全世帯割合

※母子家庭及び父子家庭の世帯数は、各市町村が把握している世帯数(児童扶養手当受給資格者またはひとり親家庭医療費助成事業対象者等)を集計した推計値

※全世帯数は、県人口移動調査より(各年10月1日現在)

〔うち母子家庭7,232世帯、父子家庭643世帯〕。全世帯に対しての割合は1.9%となっています。ひとり親家庭は、富山県の直近のデータでは減少傾向が見られます。

富山県内のひとり親家庭の状況

富山県では「富山県ひとり親家庭等実態調査」を5年ごとに実施しています。平成30年の調査では、次のようなことがわかりました。

●母子家庭

・母子家庭の母の9割以上が就業しており、「正社員・正職員」の割合は約5割と最も多いが、「臨時・パート」、「派遣社員」など非正規雇用が約3割となっている。

・母子家庭の母の5割弱は年間就労収入が200万円未満となっている。

・養育費を受け取っていない世帯は約6割となっている。

・生活上の悩みは6割以上が「生活費」をあげており、次いで「子育て・教育」となっている。

●父子家庭

・父子家庭の父の9割以上が就業しており、「正社員・正職員」が7割以上を占めている。

・養育費を受け取っていない世帯は約9割となっている。

・生活上の悩みは5割以上が「生活費」をあげており、次いで「子育て・教育」となっている。

●寡婦世帯

・4割以上が「自分や家族の健康」を生活上の不安や悩みとしてあげている。

これらの内容から、コロナ禍以前から生活面や経済面に不安を抱えていたひとり親家庭が多かったことがわかります。また令和2年度には、新型コロナウイルス感染症拡大によるひとり親家庭への実態を把握するため、「富山県ひとり親家庭等実態アンケート」を臨時で実施しました。

●仕事、収入・支出への影響

・就業や収入に変化があった割合は54.8%で、そのうち65%が「勤務日数や時間が減った」と答えている。

・収入については、「減少した」とした人は44.7%で、そのうち13.9%が新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して「5割以上収入が減少した」としている。

・支出については約7割が「増加」、そのうち約9割が「食費が増加した」と答えている。

●コロナ禍での不安や悩みごと

・「生活費」の不安や悩みが54.5%と最も多く、次いで

「子育て・教育」40.5%、「新型コロナウイルスの感染」40.3%となっている。

●必要としている支援

・「経済的支援の充実」を求める声が77.1%と最も多く、次いで「自治体のひとり親支援情報」32.7%、「食料品の無料配布」23.9%となっている。

アンケート結果からわかるように、ひとり親家庭はコロナ禍において深刻な影響を受けており、生活面や経済面はさらに苦しい状況が続いています。なかでも非正規雇用者の場合、勤務先の業績悪化や営業時間短縮などの影響を受けやすい上、子どもの休校によって仕事を休まざるを得ないなど、収入面に直接的な打撃を受けていると考えられます。

コロナ禍における富山県の支援施策

このようにコロナ禍の影響を大きく受けているひとり親



家庭に向けて、国が経済的な支援を行っているほか、令和2年度には富山県独自の支援も行いました。

〈コロナ禍における富山県独自の支援(令和2年度)〉

給付金・事業名	支給対象	支援の内容
ひとり親家庭応援事業	令和2年4月末の児童扶養手当受給者等	おこめ券 8,800円分/世帯
ひとり親家庭支援事業	高校生までの子をもつひとり親	スーパーの商品券 1万円分/世帯
ひとり親世帯への生活支援給付金	国のひとり親世帯臨時特別給付金(基本給付)を受けた方	3万円/世帯

また、「富山県ひとり親家庭等実態アンケート」の結果も踏まえ、「富山県ひとり親家庭等自立促進計画」(第4次:令和2年～6年度)を策定し、その内容に基づいたさまざまな支援施策を実施しています。その一つとして今年度実施するのが、「ひとり親家庭向けウェブサイトの開設」です。開設の背景には、行政や団体が

ひとり親家庭に向けてさまざまな支援を行っている一方で、それらの情報がまとまっているウェブサイトがなく、自分が受けられる支援を探すことが困難という現状があります。同アンケートでも「正確な情報を確実に、誰もがわかるように伝えてほしい」「自分がどんなサービスを受けられるのか、一目でわかるようなサイトがあったら良い」といった回答がありました。これらを踏まえて、ひとり親家庭が必要とする支援情報や相談窓口等を、

公益財団法人 富山県母子寡婦福祉連合会

ひとり親家庭や寡婦が安心して暮らせる福祉社会の実現を目指して活動している「富山県母子寡婦福祉連合会」。国や県から委託を受け、ひとり親家庭の支援事業を行っています。会長の竹内さんに、コロナ禍で活用できる具体的な支援を2つ聞いてきました。



公益財団法人
富山県母子寡婦福祉連合会
会長 竹内 美和子さん

新設するウェブサイトでわかりやすく発信していきたいと考えています。引き続き富山県では、ひとり親家庭等が自立を図り、家庭生活と職業生活において安定した暮らしを築くとともに、安心して子育てをすることができる社会づくりに取り組んでまいります。

〇問い合わせ先
富山県厚生部
こども家庭室 こども未来課
TEL 076-444-13209

ひとり親家庭 高等職業訓練 促進資金貸付事業

この事業は、「高等職業訓練促進給付金」(※1)を受給して就職に有利な資格を取得し、その資格が必要な業務に従事しようとするひとり親に対して、入学準備金50万円以内(養成機関に入学したとき)及び就職準備金20万円以内(養成機関を修了し、かつ資格を取得したとき)を貸し付けるといったものです。また、養成機関を修了し、かつ、資格を取得した日から1年以内に就職し、富山県内に

おいて取得した資格が必要な業務に5年間従事したときは、貸付金の返還が免除されます。修学しやすくなることによって資格取得を促進するとともに、ひとり親の自立の促進を図ることを目的としています。

(※1)「高等職業訓練促進給付金」とは

ひとり親の方が資格取得を目指して修業する間、生活の負担軽減のため、月額10万円(住民税課税世帯は月額7万5千円)を支給するものです。対象となる資格は、就職の際に有利となる資格で、養成機関において6月以上修業するものです。

〈資格の例〉

看護師、准看護師、保育士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、調理師、製菓衛生師等の国家資格、シスコシステムズ認定資格、IT認定資格などのデジタル分野などの民間資格

コロナ禍前までは「高等職業訓練促進給付金」(※1)を受ける際、養成機関において必要な修業期間が1年以上と定められており、対象となるのは看護師や介護福祉士といった国家資格でした。しかしコロナ禍を受けて、令和3年4月から令和5年3月までに、修業を開始する場合は、必要な修業期間が6月(半年)

以上に短縮され、対象となる資格がデジタル分野の民間資格等にまで広がりました。自分の得意なことややりたい仕事に合わせて、これまで以上に活用しやすい事業となっています。

ひとり親家庭 住宅支援資金貸付事業

この事業は「母子・父子自立支援プログラム」(※2)の策定を受けて、自立に向けて意欲的に取り組んでいるひとり親の方々に対し、住居の家賃(実費相当)を上限4万円/月、最大12ヵ月まで無利子でお貸しするというものです。貸付から1年以内に、母子・父子自立支援プログラムで定めた目標に合致した就職をし、就労を1年間継続したときは、貸付金の償還が免除されます。

(※2)「母子・父子自立支援プログラム」とは

児童扶養手当を受給されている方と個別に面接し、生活状況や就業への意欲、自立に向けた課題などをお伺いしたうえで、自立目標を設定。個々のニーズに応じた支援メニューを組み合わせた自立支援プログラムを策定し、きめ



細やかな自立・就労支援を実施するものです。

住宅支援資金貸付は昨年からスタートした事業で、県内では令和4年9月現在までに16件の貸付を行っています。自立支援を受けながら家賃の実費を借りることができるよう、直接的に生活の助けとなる事業となっています。

家庭の状況に応じた支援の情報を発信

ほかにも同会では、ひとり親家庭の自立や子育て、生活を支援するさまざまな事業を行っています。会長の竹内さんは「ひとり親であることを恥ずかしいと隠してしまったり、一人で抱え込んでしまうことが問題だと感じています。市役所や当会等に相談されたら、何らかの支援が受けられるはずですよ。私たちは、家庭の状況に応じた支援の情報を伝えたいので、気軽に相談に来てくださーい」と呼びかけます。

今回ご紹介した2つの事業についても、詳しくは同会にお問い合わせください。

○問い合わせ先

富山県母子寡婦福祉連合会
富山市安住町5-21
サンシップとやま内
TEL 076-4332-4298

NPO法人 えがおプロジェクト

2010年に設立された「NPO法人 えがおプロジェクト」は、ひとり親家庭のお母さんや子どもたちが集う交流の場、必要な情報を受け取ることでできる学びの場などを提供しています。

代表の出身さんに、コロナ禍の取り組みとその意義について聞いてきました。



NPO法人 えがおプロジェクト
出分 玲子さん

コロナ禍に始めたフードパントリー

コロナ禍のひとり親家庭から悲痛な声を聞き、私たちが新たな活動として始めたのが「フードパントリー」です。フードパントリーとは、食品支援を必要としている方に、食品を無料で提供する支援活動のことです。類似するものとして、家庭で余っている食品を集めて寄付する「フードドライブ」があります。フードパントリーはひとり親家庭が本来に必要な

としているものを買い揃えて提供することが特徴です。

令和2年6月から現在まで、計12回のフードパントリーを開催しました。会場ではお米・パン・野菜・お菓子などの食品のほか、衛生用品、コスメ、防災グッズなどを無料でお配りしています。夏休み前には子どもが自分で調理できるようにレトルトカレー、12月には子どもが喜ぶようなクリスマスのお菓子をを入れるなど、季節感も意識したラインナップにしています。参加した方からは「たくさんさんの食品や日用品を頂き、本当に助かりました。子どもたちがとても喜んでいました。子どもたちの笑顔を見て、改めて頑張ろうと思えました。」「重たいお米も運んで頂き、優しく子どもにも声をかけていただき、とても元気をいただきました。」「といった声が寄せられています。



フードパントリーで
無料配布しているものの一例

食品支援だけでなく相談支援のきつかけに

フードパントリーは食品支援だけが目的ではありません。ひとり親家庭と繋がるためのきつかけづくりにしています。受付では、一人ひとりに困りごとがないか声をかけています。そこで「仕事をなくした」「子どもの家庭内暴力で悩んでいる」といった深刻な困りごとを相談いただくこともあり、実際に支援制度を紹介したり、行政に繋いだ事例もあります。このような相談支援の場としても、フードパントリーは続けていく必要があると実感しています。

県内各地で開催しているフードパントリーですが、黒部市の回では、黒部市社協の協力のもと開催しており、おかげさまで食品支援・相談支援ともに充実しています。黒部市社協は緊急小口資金の窓口にもなっているため、お金の調達について相談があったときには、すぐに担当者にお繋ぎすることができました。また、黒部市役所のこども支援課の方が会場に来てくださったときには、教育費で困っている方をお繋ぎすることができました。このように、相談からすぐ支援に繋がれるという点で、社協や行政と協力すること

はとても意義のあることだと感じています。



黒部市の農家さんから
新鮮な野菜も寄付される

フードパントリーの活動は、助成金や寄付金などで運営しています。逆に言えば、助成金や寄付金がないと継続することができません。黒部市社協のように協力してくださる団体があれば、他の市町村でも継続して開催できる可能性はあると思います。

「子どもたちのえがおは、お母さんのえがおから」。ひとり親家庭を支援することは、未来を担う子どもたちの笑顔を守り、可能性を広げることにつながります。これからもさまざまな団体や行政にご協力いただきながら、活動を継続していきたいです。

○問い合わせ先

NPO法人 えがおプロジェクト
TEL 090-3763-8778





秋の福祉のお仕事フェア (児童・保育分野) を開催します!

児童・保育関係の職場への就職を希望する一般求職者及び2022年度卒業予定の学生を対象に、「令和4年度 秋の福祉のお仕事フェア in TOYAMA 〜福祉の就職総合説明会2022〜(児童・保育分野)」を開催します。

県内の児童・保育分野の約30法人(予定)から運営方針、仕事内容、待遇などについて直接話すことができる機会です。ぜひご参加ください!

- 日時:令和4年11月26日(土)10:00~12:00
- 対象:県内の児童・保育分野の職場に就職を希望する一般求職者、令和5年3月に卒業予定の学生
※県健康・福祉人材センターへの求職登録が必要です。(当日登録可)
※参加費無料、履歴書不要、事前申込み不要、服装自由、
- 会場:県総合福祉会館(サンシップとやま)1階 福祉ホール

福祉のお仕事フェアを開催しました!

福祉関係の職場への就職を希望する一般求職者及び2022年度卒業予定の学生を対象に、「令和4年度 福祉のお仕事フェア in TOYAMA 〜福祉の就職総合説明会2022〜」(【福祉・介護分野】令和4年7月30日(土)、【児童・保育分野】令和4年7月31日(日))を富山国際会議場にて開催しました。

福祉・介護分野から85法人、児童・保育分野から53法人の出展があり、2日間で延べ214人の求職者が参加しました。また、今年度はオンライン面談を同時開催し、各日12法人が会場に来られなかった求職者とオンラインで面談を行いました。

会場では、求職者は複数の法人のテーブルを回りながら、事業所の説明や質疑応答を通して、法人や仕事内容への理解を深めていきました。



会場での面談の様子

令和5年度のお仕事フェアは6月24日(土)、25日(日)を予定しております。

はじめての福祉の仕事サロンを開催します

福祉の仕事についての基本的な内容や現場の状況などについて、キャリア支援専門員がていねいにお答えします。

- 対象:福祉・介護分野に興味・関心がある求職者の方
- 日時:11月24日(木)
12月22日(木)
いずれも13:30~16:00
- 会場:サンシップとやま
- 定員:各月10名(先着順)

福祉・介護の仕事 イメージアップTVCM 健康・福祉人材センターウェブサイトで公開中!

8月10日富山県ホームヘルパーの日、11月11日介護の日に合わせて、福祉・介護の仕事イメージアップTVCMを作成しました。

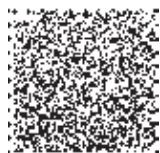
- 「富山県ホームヘルパーの日」編
TV放映期間:終了
- 「富山県介護の日」編
TV放映期間:10月30日~11月5日



「富山県ホームヘルパーの日」編には、富山北部高校の生徒さんが描いたイラストが使用されています!
どちらも健康・福祉人材センターウェブサイトからご覧いただけます。



福祉の職場を目指すあなたを応援します!



参加希望
問い合わせ先

県社協
県健康・福祉人材センター
県保育士・保育所支援センター
TEL 076-432-6156

【開所日】月曜日~金曜日
(土・日・祝日および年末年始を除く)
【受付時間】8:30~12:00
13:00~17:00

園児置き去り、再発防止策急務

大坪 健(弁護士)

一 去る九月五日、静岡県牧之原市の川崎幼稚園で三歳の女児Tちゃんが送迎バスの車内に置き去りにされ熱中症で死亡するという痛ましい事故が発生した。

(1)川崎幼稚園では、休む場合は保護者がアプリにその旨を打ち込む(登園する場合は何も打ち込まない。ことになってたがTちゃんの保護者は何も打ち込んでいなかった。

(2)いつもの運転手が休暇をとったため、七〇代の園長がバスを運転した。

(3)バスにはもう一人七〇代の女性派遣職員が同乗していた。

(4)派遣職員は、バスに乗りした園児五人までチェックしていたが、最後に乗車したTちゃんのチェックをし忘れた。

(5)派遣職員は、降車時のチェックをしたのかもしれないが、(4)によりTちゃんの乗車のチェックがなく五人降りたので全員降りたと判断したか？

(6)園長も、派遣職員も、園児がバスに残っていないかの確認をしなかった。

園児がバスに残っていないか確認をするのは必要不可欠のことであり、これをせずにバスから離れてしまう神経が信じられない。

(7)川崎幼稚園では、園児の登園などを管理するシステムが導入されていて、Tちゃんはシステム上登園となっていた。

(4)と(5)でTちゃんの乗車、降車のチェックがなければお休みとなりそうだが、(1)でアプリに何も打

ち込まれてなかったたので登園となっていたのか？

(8)クラス担任、クラス補助の両名は、Tちゃんの姿が見えないのに登園情報の確認、職員室での確認、保護者への問い合わせなどすることなく、お休みと判断した。

さいたま地方裁判所の平成二十一年一月一六日判決は、保育所内での園児死亡事件についてではあるが、「保育士は、子ども達の命を預かることが当然に求められている。安全を確保するため、保育士は、少なくとも自分が担当する子ども達の動静を常に把握する義務を負っている。少なくとも三〇分に一回は人数確認を行うなどして、子ども一人一人の動静に気を配ることが求められている。」などとしている。

Tちゃんがこれまで連絡なく休むことは無かったにもかかわらず、勝手にお休みと判断してしまったことにより、少なくとも三〇分に一回の人数確認をすることによるTちゃん救出の可能性を消去してしまった。

そもそも自分が担当する子の姿が見えなかったら、しかも何の連絡も無かったら、気になってしょうがなく職員室へ行くなりして理由を明確にするはずだがこれを全くせずにお休みと判断するなど呆れて物も言えない。

二 幼稚園や保育所の職員さんにお願したい。大切な命を預かっているのだという自覚を強くもって、念には念を入れて子ども達の動静確認をすること。

一般部門

【富山県知事賞】

作品名:車の補助席

出品者:田畑 林弥さん

【優秀賞】4点 【入賞】9点



用途・特徴

一旦座って助手席に移動できる補助席。補助席を作ったおかげで病院の送迎、ドライブと移動がスムーズにでき大変重宝しています。補助席の構造はシンプルで車の構造に合わせて、簡単に作れます。

受賞作品は、介護の日inとやま2022フェスティバルで表彰します。また、11月8日から11月23日まで、応募作品をサンシップとやま内に展示します。発想力豊かな作品の数々をぜひご覧ください。

★福祉用具・アイデアコンクール 表彰式 ●日時:11月6日(日) 11時~12時
●場所:ファボーレ 太陽の広場

○問い合わせ先 県社協 県介護実習・普及センター ☎076-432-6305

高校生部門

【富山県知事賞】

作品名:筆記用投影装置「前沢書長」

出品者:富山県富山工業高等学校

(グループ名)電気工学科 課題研究 島竹班
(メンバー)前田 寛斗、西村 伸一、須藤 奏一郎、
下垣内 琉聖、神谷 依央織、中村 朋愛

【優秀賞】2点 【入賞】5点



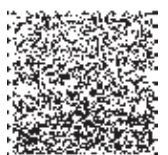
用途・特徴

スマホやパソコンに文字を表示させることで、様々な映像を紙に投影して、自由になぞり書きすることができます。高齢者や障がい者の方への脳トレ、機能回復のためのリハビリ・医療支援に活用することができます。

本年8~9月、「豊かな暮らしをつくりだし、生活を支援する福祉用具」をテーマに「令和4年度福祉用具・アイデアコンクール」を実施したところ、131点もの応募がありました。その中から特に優れた作品をご紹介します。

福祉用具・アイデアコンクール受賞作品発表!

県社協 県介護実習・普及センターからのお知らせ



我が社会福祉法人の 地域における公益的な取組

社会福祉法人 高岡南福祉会(高岡市)

令和元年6月、若年性認知症当事者Tさんと出会いました。理学療法士として病院で働いていた経験を活かしてもらおうと、理学療法士や介護福祉士のサポートを受け2年余り特別養護老人ホームで働いていただきました。

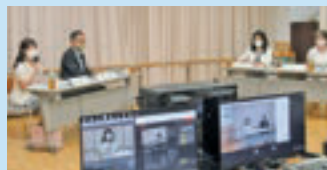
生きづらさを抱えていても働きたいと思う若者は沢山います。想像していたより私たちの側にいる彼らの存在を知りました。彼らに合ったシフトやマニュアルがあれば働ける“ことに気づき、一般社団法人POCとやまさんと共に特別養護老人ホームで清掃に取り組み始めました。1年半を経て、特養の清掃・車いすメンテナンス(専門業者さんに指導を受けています)・車両清掃と、メニューを増やし、令和4年6月から高岡市民病院全病棟の車いすのメンテナンスに取り組み

んでいます。
令和元年11月からベトナム人技能実習生が特



高岡市民病院、車いすメンテナンスを行う若者たち

別養護老人ホームで介護実習に取り組んでいます。「日本に来て介護を学ぶだけでなく実習生達が暮らす高岡市戸出を知ってもらおうと、自治会の集まり等に参加してもらいました。すると実習する施設の管理スタッフや自治会長さんが知らぬ間に実習生が暮らす寮の近所のおばちゃん達とお惣菜のやり取りやおばちゃん達の家に集まってテト(ベトナムのお正月)のお祝いをするということが始まりました。



各種勉強会をライブ配信で共有。YouTubeでいつでも視聴できるようにしている。

3年に渡るコロナ禍はそれまでの活動に制限をかけ体制や方法に変化を求めています。地域や同業他社と行ってきた勉強会やイベントの共有もしかり。しかし多くの専門職が試行錯誤を繰り返すと同時に、一人一人が自分のできることを行っていると思わぬ化学反応や新たな展開が生まれています。
「そつと見守り、さりげない手助けと安心感を」社会福祉法人高岡南福祉会の理念です。

あかいはね トビックス



赤い羽根共同募金運動 が始まりました

今回で76回目になる赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まりました。



富山空港での伝達式

運動開始にあたり、富山空港2階ロビーにて、赤い羽根空の第一便「厚生労働大臣・中央



を行っています。

(申請受付期間)「予定」

令和4年12月1日～

12月23日 ※必着

(助成対象)

市町村社協、NPO、その他助成テーマの趣旨に沿った活動を行う団体。

(助成対象事業)

地域で孤立している人々を支える「つながりをたやさない社会づくり」に対する取り組み等で、新たな見守りの仕組みづくりや居場所づくり、孤立をなくすための相談支援体制づくりや地域での講座や啓発事業、孤立をしたひとたちを支えるネットワークづくりなどを対象とします。

(助成額)

1団体30万円(子ども食堂等は20万円)を上限とする。

ただし、備品等の整備の場合は、整備に要する費用の3/4。

○問い合わせ先

県共同募金会

☎076-431-9800

ウェブサイト

www.akihane-toyama.or.jp



NPO法人 の紹介

**スポーツを通して知的障害者に
社会参加と自立の機会を提供**
NPO法人スペシャルオリンピックス日本・富山(富山市)

「スペシャルオリンピックス」とは、知的障害のある人たちにさまざまなスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。富山の事務局長をつとめる岡田励さんに、活動への思いを伺いました。

Q 設立の経緯は？

「スペシャルオリンピックス」は、アメリカ発祥の非営利活動です。現在は170カ国以上で500万人以上ものアスリートが活動に参加しています。

平成15年、「スペシャルオリンピックス日本」を設立した細川佳代子氏の講演が旧大島町で行われました。それを聞いた当時の事務局長が感銘を受け、富山でも立ち上げようと動き出し、平成17年に地区組織として認証を受けました。その後、国内本部の意向もあり、平成29年にNPO法人化しました。

Q 現在の活動は？

富山では約150名の知的障害者がアスリートとして登録しています。夏季・冬季あわせて11競技のスポーツプログラムを用意しており、競技ごとに1シーズンで8回程度のスポーツトレーニングと、1回の

競技会を行っています。

アスリートは地区大会や全国大会に参加するチャンスもあり、さらにはオリンピック同様、4年に一度の世界大会へ活躍の舞台も用意されています。



スノーシューイングなど
冬季競技も充実している



バスケットボールの練習風景

Q 今後の活動、目標は？

私たちの本来の目的は、知的

障害のある方に、社会で生きていく上で必要なことをスポーツを通して身につけてもらうことです。そのため、いずれは企業に就職したり、地域のスポーツクラブに参加できるようなするなど、当組織を卒業して地域社会に出ていけるような道筋を作っていきたいです。

また現在、知的障害のある人と健常者が一緒にスポーツをする「ユニファイドスポーツ」の取り組みも行っていますが、より本来の目的に沿った活動を充実させていくために、「ユニファイドスポーツ」を担う一つの独立した組織を作る働きかけも行っています。



事務局長
岡田励さん

○問い合わせ先

NPO法人スペシャル
オリンピックス日本・富山

富山市布瀬町南2-10-14
事務局 岡田励さん

TEL 090-6273-3129

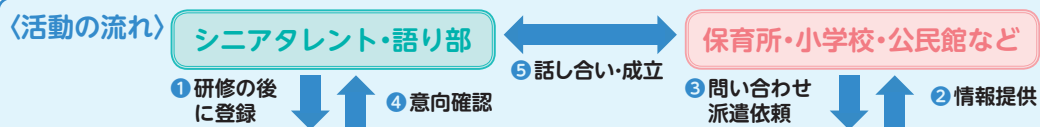
— あなたの能力を活かして社会活動しませんか — シニアタレント・語り部 登録者

募集中

人生100年時代の到来とも言われる現在、富山県では元気なシニア世代の方が年齢に関わらず、長年培った知識や技能、経験等を活かしながら地域で活躍する生涯現役社会(エイジレス社会)の実現を目指しています。そこで県社協県いきいき長寿センターでは、「富山県シニアタレント・語り部バンク」を設置して、人材を求める保育所・小学校・公民館等に紹介しています。

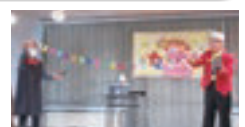
県内子どもからお年寄りの方に笑顔や感動を届けるため、あなたの能力を活かしてみませんか。いきいき長寿センターは、あなたのやる気を応援します。

- シニアタレント・語り部とは… 県内在住の60歳以上で、ご自分の能力を活かした社会参加活動(講演・指導・出演など)を行う意欲があり、所定の研修を修了された方。
- 応募方法… お電話いただければ登録希望用紙をお送りします。各種団体等からの推薦も可能です。後日、養成研修会(2月頃)の開催時期に合わせて受講案内をお送りします。



〈富山県シニアタレントバンク〉事務局: 県いきいき長寿センター
ホームページ <https://www.toyama-shakyo.or.jp/vita/shidousyameibo/>

○問い合わせ先 県社協 県いきいき長寿センター TEL 076-432-6010



保育園でのマジックショー



富山大空襲の体験談



養成研修会



ボランティア
グループ紹介

脳トレーニングを通して みんなで楽しく認知症予防

氷見きときと脳トレクラブ(氷見市)

認知症予防に効果が期待できる脳トレーニングの普及活動を行っている「氷見きときと脳トレクラブ」。県いきいき長寿センター主催の「脳トレリーダー養成講座」を受講したメンバーらによって、平成30年4月に設立されました。



代表 吉岡裕一さん

代表の吉岡さんは、会社を退職して初めて「物忘れが気になるようになった」と話します。周りの知人も認知症になるなど、ちよつと認知症に対する危機感を感じていたところ、養成講座の案内を見て参加を決めたそうです。

現在は21名のメンバーで、氷見市内の公民館や集会場、老人ホームなどを訪問して活動を行っています。毎月第4木曜の

14時〜15時には、氷見市いきいき元気館で「脳トレサロン」として、誰でも自由に参加できる場を設けています。内容は会場によってさまざまですが、音楽に合



月に1回開催している「脳トレサロン」の様子

わせて手を動かす手遊びを必ず取り入れています。

コロナ禍では人と人とのコミュニケーションが希薄になり、認知症リスクが高まっていると言われています。そんななか、一昨年には氷見市社協のサポートを受け、介護施設および老人ホームとオンラインで繋ぎ、リモートで脳トレを実施しました。

吉岡さんは「高齢者の皆さんは身体の老化防止に対する意識が高い一方で、脳の老化防止に対する意識はとても低い。

脳を活性化することの重要性を、脳トレを通して認識してもらえたら」と活動の意義を話します。これからの目標は、できるだけ長く活動を続けていくこと。そのために参加者のレベルに合わせた脳トレを用意するなど、ますます活動を充実させていきたいと考えています。「私たちがやりがいを持って楽しく活動することで、参加者の方にも元氣になってもらいたい」と吉岡さんは意気込みます。



脳トレ問題を解く参加者の皆さん

○問い合わせ先

氷見きときと脳トレクラブ
TEL 0766-91-3065

令和4年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設などに
**スケールメリットを活かした割安な保険料で
 充実補償をご提供します！**

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)		保険期間 1年	
▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用責任賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました！

NEW 施設の感染症対応費用補償
 休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



(SJ21-12224 から抜粋)

私たちの自慢の一品

NPO法人 あかりハウス(富山市)

多機能型事業所「NPO法人あかりハウス」は、いろいろな障害を持つ人たちがお菓子づくりを通して楽しく集える生活の場です。現在は18名の利用者が、社会の一員として自立を目指して日々働いています。



8つの味が楽しめる「ミックスクッキー」
富山県産りんごの「アップルパイ」など

定番で作っているのは、クッキーやアップルパイ、マドレーヌなどの焼き菓子。草餅や道明寺(さくら餅)など、季節限定の和菓子も好評です。ミネラル豊富なマスコバド糖を使用した焼き菓子は、

やさしい甘さとおつさりした後味が特徴。そのほかの原料にもこだわっており、卵や小麦粉など、富山県産の食材を積極的に取り入れています。利用者は



利用者はみんなお菓子づくりが大好き



材料を混ぜたり、クッキーを成形したり、ラベルやシールを貼ったりと、一人ひとりに合った作業でお菓子づくりに携わっています。また、コロナ禍はこれまで以上にきちんと身支度をして、手洗いや消毒も徹底しています。

「あかりハウス」の仲間たちは、みんなお菓子づくりが大好き。なかには将来お菓子屋さんやパン屋さんになりたい人、この場所で働く人たちに、利用者の夢を叶えられる自己実現の場にもなっています。また、ここで働く人たちにとって、屋敷の時間も楽しみの一つ。ボランティアさんが季節の野菜を使って手作りしてくれる定食は、心と身体の元氣につながっています。



焼き菓子やハンドメイド品の販売コーナー

富山市安養坊にある事業所は、令和2年に移転リニューアルしたばかり。焼き菓子やハンドメイド品を販売するコーナーのほか、広々とした喫茶スペースを併設しており、誰でも気軽に訪れることができます。本格的なドリップコーヒーや紅茶などを提供する喫茶スペースは、地元の人たちとの交流の場にもなっています。



明るい喫茶スペースは地元の人たちの憩いの場

焼き菓子はほかにも、高齢者施設や農協の直売所、カフェ、病院の売店などで販売しています。イベントにも積極的に出店し、自分たちが作った焼き菓子をたくさんの人に届けています。今後富山県産の食材を積極的に使って、地元の人たちに親しんでもらえる商品開発をしていき

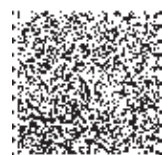
たい」と管理者の杉林さん。障害のある人も、そうでない人も、住み慣れた土地で豊かに暮らせる社会を目指して。これからも「あかりハウス」の仲間たちはお菓子を通して、地域にたくさんの方々の笑顔をお届けしていきます。



「あかりハウス」で働くみなさん

〇問い合わせ先

NPO法人 あかりハウス
富山市安養坊582-1
076-441-5005





富山県ホームヘルパー協議会

令和4年度「介護山柳」入賞作品

富山県では8月10日を「ホームヘルパーの日」とし、普及・啓発を図っており、その活動の一つとして、介護にあたるホームヘルパーや家族の想いなどの川柳を募集しました。応募総数652句の中から、次の句が入賞・入選となりました。

入選

目の高さ
合わせ顔さ
聞く介護
逸見 修(73歳・一般)

ボケ防止
脳トレ競う
老い二人
堀江 幸子(91歳・利用者)

良い介護
家族と共に
二人三脚
前田 芳美(63歳・ヘルパー)

ヘルパーと
独居に笑い
ひとときの
中本 浩美(59歳・一般)

寝ガタイプが
歩ジタイプになる
介護愛
鮎川 郁夫(75歳・一般)

マスク越し
目の優しさに
手を合わせ
杉本 湘路(76歳・一般)

まず聞いて
掃除・洗濯
あとまわし
山田 洋子(69歳・ヘルパー)

ヘルパーに
あれこれそれと
あい言葉
結城 勝広(48歳・一般)

杖新た
花柄うれし
喜寿の春
近藤 由規(41歳・ヘルパー)

「あ〜んして」
昔新婚
今介護
石山 和美(63歳・ヘルパー)

身に沁みる
富山の幸の
介護食
小林 寛久(35歳・一般)

ヘルパーに
番犬までも
しつぽ振り
青木 知恵(49歳・一般)

優秀賞

夢ヘルパー おばあちゃんつ子の 恩返し
砂山 依智花(18歳・学生)

出来たこと 記す介護の 母子手帳
莊子 隆(71歳・家族)

最優秀賞

ヘルパーの 気づきのチカラ 命づな
菅原 菜実(53歳・ヘルパー)



8月21日、9月11日の2日間にわたり、富山市内で研修会を開催しました。県内市町村社協職員や各地区社協の関係者、一般市民が受講者として参加し、講師には、NPO法人にいがた災害ボランティアネットワークの李仁鉄理事長をお招きしました。

参加者は、災害時に想定される課題や関係機関との連携について、講義やグループワークを通して、現場では何ができるかを考えました。また、李理事長の被災地での経験談を聞きながら、時折、質問をするなど、熱心に受講していました。

「令和4年度災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会を開催」



8月1日、県総合福祉会館において、生命保険協会富山県協会(以下、県協会)より、にいかわOB会(黒部市)と県相談支援専門員協会(砺波市)の2団体に助成金寄贈が行われました。

寄贈式では、県協会の筋内明人会長より、にいかわOB会長谷川保会長と県相談支援専門員協会向井由美子会長に助成金5万円の目録が手渡されました。

県協会による寄贈は平成20年度より行われており、今回で、寄贈先は延べ29団体となりました。

「県生命保険協会より 障害者支援団体へ 助成金を寄贈」



9月26日(月)、富山信用金庫様(左側)から県社協へ「とみしんチャリティーゴルフ大会」参加者からの寄附金(目録)の贈呈
(左側から梅川雅之常務理事、山地清理事長)

ご寄付ありがとうございます

●寄付者一覧 令和4年8月1日から令和4年9月30日まで

●富山信用金庫 様 208,000円

県内の社会福祉事業振興や地域福祉推進のために活用させていただきます。

県社協のおもな動き

11月日程	行事名	場所
1 (火)	日常生活自立支援事業 市町村社協専門員連絡会	サンシップとやま
	日常生活自立支援事業 市町村社協専門員研修	サンシップとやま
2 (水)	民生委員・児童委員研修	国際会議場
4 (金)	日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
6 (日)	介護の日フェスティバル	ファボーレ
	がんばる介護職員 交流研修・表彰式	ファボーレ
26 (土)	令和4年度 秋の福祉のお仕事フェア in TOYAMA (児童・保育分野)	サンシップとやま
12月日程	行事名	場所
1 (木)	日常生活自立支援事業 生活支援員ステップアップ研修	サンシップとやま
2 (金)	日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
6 (火)	地域防災対応力強化研修	サンシップとやま
7 (水)	地域包括ケアとコミュニティソーシャル ワーク研修(後期)	高志会館
8 (木)	地域包括ケアとコミュニティソーシャル ワーク研修(後期)	高志会館
9 (金)	新任民生委員・児童委員研修 (西部会場)	砺波市文化会館
13 (火)	市町村ボランティアセンター連絡会	サンシップとやま
16 (金)	新任民生委員・児童委員研修 (東部会場)	県民会館
20 (火)	第2回ケアネット活動コーディネーター 研修会	サンシップとやま



編・集・後・記

新型コロナの影響による収入減で「食べる回数や量を減らしている」といったひとり親の声も少なくなく、ひとり親家庭が置かれている苦しい状況にとっても胸が痛くなりました。コロナ禍が長引き、物価高も生活を直撃しています。自立に向けた長期的な支援と同時に、今回ご紹介したフードパントリーのような「今日、明日の家計が助かる」支援をもっと充実させていく必要性を感じました。

本誌に関するご意見・ご感想をお聞かせください。
●ウェブサイト <https://www.toyama-shakyo.or.jp/>
●メール info@toyama-shakyo.or.jp
ハートイは富山県のボランティア活動のマスコットマークです。



「福祉・介護」の
魅力発信！

介護の日フェスティバル実行委員長
特別養護老人ホーム ささづ苑
副施設長 村井 博昭さん



11月6日(日)にファボーレにて第10回介護の日フェスティバルが開催されます。介護の日とは、厚生労働省が11月11日(いい日、いい日)の前後2週間に、多くの方々に介護を身近なものとして捉えてもらい、それぞれの立場で介護を考え、国民への啓発を重点的に実施する日と定められています。

富山県では、福祉・介護に関連する12団体と県が主催となり、介護の日フェスティバルを企画・運営しています。

私は、昨年に引き続き実行委員長として、フェスティバルの運営にあたっています。昨年、県内3つのプロスポーツチームと

共同で、介護予防体操を制作し、介護の日フェスティバルのYouTubeチャンネルを開設し配信しました。各施設や、地域住民の集まりで活用してもらい、とても嬉しく思っています。時代に合ったやり方や方法で、幅広い世代へ介護の魅力を発信しています。

今年度も内容盛り沢山で、YouTubeのライブ配信も予定しています。

これからも福祉・介護の魅力を多くの方へ発信し、少しでも福祉・介護に興味・関心をもってもらいたいと思っています。

YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCAV2Om_U5KMI9AQaFOTZtng

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会は
住民主体の地域福祉の理念に基づき、だれもが安心して暮らすことができる福祉社会の実現をめざし、県内の民生委員・児童委員、福祉施設、福祉従事者、ボランティア等で構成する、公共性と自主性をもつ民間社会福祉組織です。

